紀伊安久川の洪積統

竹山俊雄

紀伊半島には海岸段丘がよく發達してゐる。

田邊附近では此の段丘表部に厚さ八米前後の砂利層がある。其の砂利は主に直徑一寸から四分位で之に礫母様の赤土が可成入つてゐる所もある。砂利層の下には處に依り洪積世の粘土層や砂層があつて介等の化石を含んでゐる。嘗て中村黒田兩先生に依り本誌(第一卷)上に報告された南部町界の洪積統は其の一例である。茲に他の一つである西牟婁郡西富田村字才野小字安久川の洪積層について述べる。安久川は田邊の南方八軒半にある海岸の一小部落である。

安久川と同郡南富田村中村の間には南北千米東西七百米高さ四十米の海岸段丘があつて、南方は直ちに太平洋に臨んでゐる、段丘の上には八乃至十米の砂利層があつて其の下には中新統の砂岩が露出してゐる。而してたゞ一箇處此の

臺地の西端安久川部落の北に接し礫層下の青灰色泥質細粒砂が僅に露出してゐる。露出は谷の東側に當り南北に約十五米出てゐる。砂層は所に依り粘土質になつてゐて厚さ八米しか露出してゐないで、下底は不明であるが、すぐ北に中新統の砂岩が露出してゐるので、その間の關係の不整合なる事は明である。

砂層の上には砂利層があつて厚さ約十米に達する。兩層共に水平で、その間の面は弱い凹凸を有するが充分な不整合とは認められない。

砂層の中には下部の厚さ三米程の間に散在して化石を産する、化石は軟體動物を主とし其の外有孔虫、珊瑚、環蟲類、海膽類及び木の葉の印象、松の實、流木がある。化石の個體數は少くて處によると化石が含有されてゐないと見える程であるが軟體動物の種類は著しく多く二百

餘種を同定し得た。左のどの多産するもののみを列記する。

1. *Turritella* cf. *multilirata* Adet Rve.
2. *Natica janthostoma* Desh.
3. *Alabina pupoides* (A.Ad.)
4. *Rissoina* sp.
5. *Britium diploax* Watson
- (6) *B.* sp
- (7) *Cerithiopsis hilaris* Yok.
8. *Mitrella masakadoi* (Yok.)
9. *Nassaricus japonicus* (A.Ad.)
10. *Umbonium costatum* (Val.) Kiener
11. *Ringicula arctata* Gld.
12. *Retusa* (*Coleophysis*) *succincta* A.Ad.
13. *Dentalium octogonum* Lam.
- (14) *Arca yokoyamai* n.n. (= *Arca symmetrica* of Prof. Yokoyama)
15. *Arca symmetrica* Rve.
16. *Anatina* cf. *flexuosa* Rve.
17. *Phacoides pisidium* (Dkr.)

紀伊安久川の洪積統

18. *Cardium muticum* Rve.
 - (19) *Lioconcha gordonis* (Yok.)
 20. *Macrocallista pacifica* (Dyllw.)
 21. *Tellina nitidula* Dkr.
 22. *Macoma truncata* (Jonas)
 23. *Erythra bisculpta* Gld.
 24. *Theora lubrica* Dkr.
- 表中番號に括弧を附したものは現生種として知られないものである。此の中7は安房の洪積層、14、19は夫々下部及び上部武藏野層に産する。又5、15、22等にて判る如く此のフォーナは黒潮式のもので親潮式のものとは殆んど混じてゐない。確定種百八十五種中現生種として知られてゐないものは四十六種の多きに達する。然し現生種でないものゝ多き理由の一部は塔形貝科、管巻貝科等の小形種で従來現生種が報告されてゐないものに屬する爲めである。
- 堺の洪積層を仔細に檢するとフォーナの上から之を三つに細別し得る。即ち最上部は無化石層で、最下部の厚さ凡そ二米の間に限りて *Arca*

granosa 及び *Ostrea palmipes* が存在する。中部層は *Turritella* cf. *multilirata* を特有とする。中村黒田兩先生が擧げられた貝の中

14. *Pingicula arctata* Gld. は中部層から出たもので残りはどちらからか判らない。以上の外中部層には

1. *Arca granosa* L.

Nassarius japonicus (A.Ad.)

2. *Ostrea palmipes* Sow.

N. livescence (Phil.)

11. *Potamides cingulatus* Gmel.

Arca Yokoyamai n.n.

13. *Natica* sp.

Cardita cunningiana Brug.

は下部層から

8. *Umbonium costatum* (Val.) Kiener.

9. *Stomatella lyrata* (A.Ad.) Pils.

12. *Turritella* cf. *multilirata* Ad. et Rye.

等がある。堺の中部層の貝類の殆んど全部は安久川のもので共通である。之から考へて安久川の含化石砂層は堺の含化石層の上部及び中部層に對比するものと謂ふべきである。

西遊夢錄

(十八)

瀧川規一

蘇國の部

(XIX) エヂンバラ市及其附近

國立畫像展覽場(2) チャールズ一世(Charles I)の時代は實に物騒な世の中である。國王をはじめ王黨の歴々として額縁内に嚴然と威儀を正してゐる人々は何れもその末路が悲惨で

ある。ヨーク太公は鑿面で而も面篋である。太公はこの姿のまゝで刑の審問を受けた。こゝに並んでゐるモンテレイ侯爵(Marquis of Huntly)とハミルトン大公(Duke of Hamilton)もまたモンテローズ侯爵(Montrose)も皆斷頭臺上に首を刎られたのである。アーガイル侯(Marquis of Argyll)に至つてはチャールズ二世の頭に王冠を冠せさせた人であるが自ら